

統合医療に、固有の評価基準が必要

阿岸鉄三

88-05-24

Looking over Terapi, Palace

Stand, Turkey

TERAPI
ACRYL

(035-034-II)

統合とは何か

integration, integrate

(部分・要素を) **全体にまとめる**、統合する

~integrates several ideas into one's own philosophy

積分する 次元が変わる

$$\text{速度} = \int_{t=0}^{t=T} \text{加速度} \cdot dt \quad \text{距離} = \int_{t=0}^{t=T} \text{速度} \cdot dt$$

科学scienceとは分析・分化すること:

分化scienceと統合philosophyによって、
進化が起こる

EBM(Evidence-Based Medicine)の概念における矛盾⁰¹¹⁻⁰²³

1. **経験主義empiricismを排し、科学的証拠** (= 臨床研究の evidence) に基づいた医療を行う。

しかし、経験を排除できない。

cf. 科学 帰納 相同性・相異性の検出 事象の経験を蓄積

cf. 実験 帰納 (条件付けによって相同性・相異性を顕著に) 経験の蓄積

cf. empiricism: (自然科学などの) 経験主義 in 新英和辞典第六版、研究社、2002年

2. **患者の価値観の重視**

具体的には、QOLの保持

しかし、患者の価値観・QOLは、極めて**主観的**で、
科学的評価に耐えない。

透析患者のQOL評価

009013

'Physical functioning' scale of SF-36 questionnaire

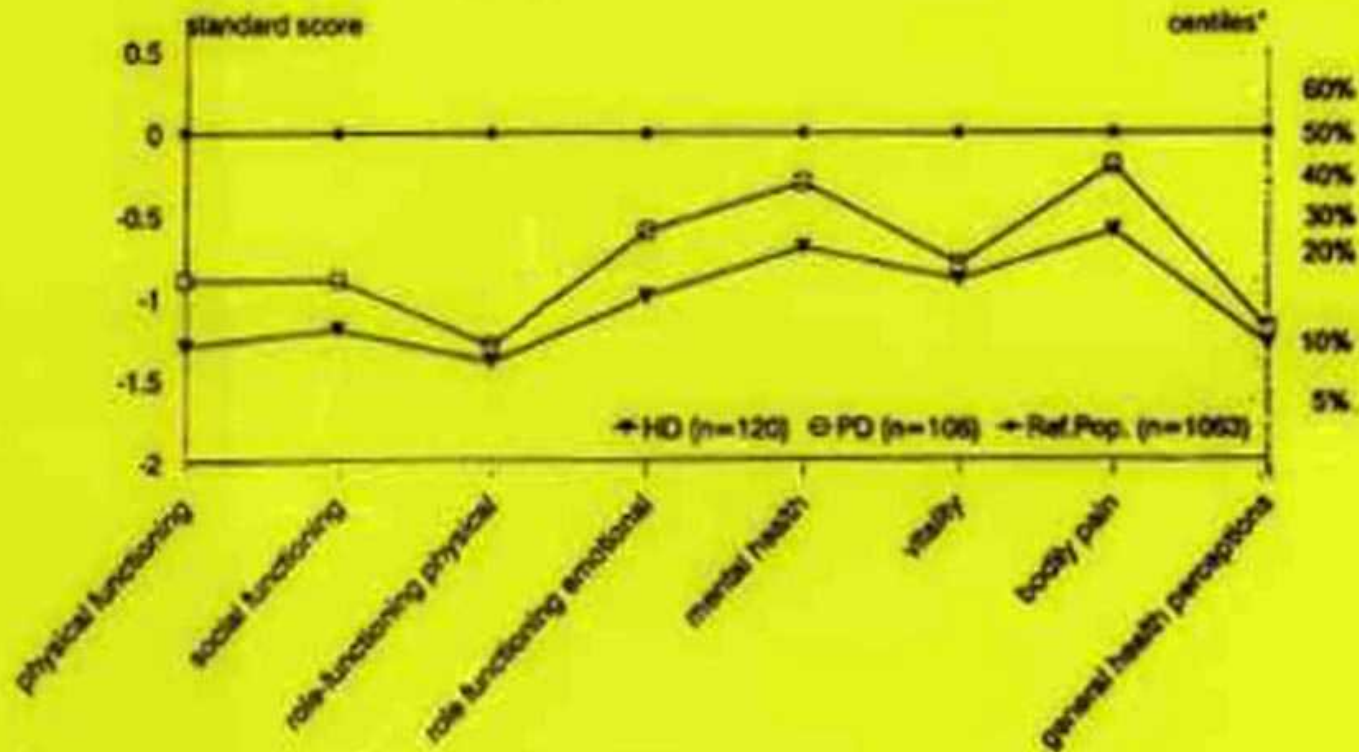
The following items are about activities you might do during a typical day.

Does your health now limit you in these activities? If so, how much?

	Yes, limited a lot	Yes, limited a little	No, not limited at all
a. Vigorous activities, such as running, lifting heavy objects, participating in strenuous sports	1	2	3
b. Moderate activities, such as moving a table, pushing a vacuum cleaner, bowling, or playing golf	1	2	3
c. Lifting or carrying groceries	1	2	3
d. Climbing several flights of stairs	1	2	3
e. Climbing one flight of stairs	1	2	3
f. Bending, kneeling, or stooping	1	2	3
g. Walking more than a mile	1	2	3
h. Walking several blocks	1	2	3
i. Walking one block	1	2	3
l. Bathing or dressing yourself	1	2	3

(G. Mingardi, Nephrol Dial Transplant 13 Suppl 1, p72, 1998)

Differences in SF36 scores between the dialysis patients and the reference group expressed in mean standard scores.



*Centiles of the reference population: for example, X% of the reference population falls below Xth centile and the remaining members fall above that point. *P<0.05, hemodialysis and peritoneal dialysis patients compared with the reference population. †P<0.05, hemodialysis compared with peritoneal dialysis patients.

(022 - 018)

量と質から

世の中をとらえる

-「社会調査の」の立て直し-

(鈴木京一:朝日新聞2006年

4月13日夕刊2版14頁)

学 の いま

「社会調査」という言葉には、世論調査、世論調査の信頼性を高め、人材を育成しようとする日本社会学会など、大学が30年にスタートさせた。大谷も大学院で統計学、データ分析、実務などの授業を講ずることで資格を得られる。

「いい加減な調査が世の中に多すぎる。社会者はこれまで、自分が世論調査に注意を払っても、世間で行われている調査には関心なかったが、社会的責任があるはずだ。」賢橋正徳の事務局長次長を務める大谷賢一、関西学院大学教授は話す。

大谷さんは去年とも、自治体が実施している意識調査を調べ、「これでいいのか、市民意識調査」(ミネソラヴァ)にまともな統計学上の根拠もなくサンプルを決めている調査、質問が連続していて回答しづらさが気になっている調査が少なくない。

量と質から世の中をとらえる

「社会調査」の立て直し

「社会調査」という言葉には、世論調査の難しさが理解されていない」と大谷さんはいう。

社会学者や社会学の学生を主な対象とする社会調査士はこれまでほとんどいない。大学院生を対象とする両社会調査士は、2006年に入社した。学生の資格への関心もあつて、予想以上の人気だ。

「資格」と距離
もともと、社会学者の中には調査士制度と距離を置く人もいた。世論調査を研究してきた好井裕明・筑波大教授は「カリキュラムの内容が調査調査が中心で、質的調査調査で十分と注文をつけた。」

「量的調査」とは、世論調査のように、多くの対象者から回答を得て結果を数値で示るような調査を指す。これ

「質的調査」は、例えば、世論調査の難しさを理解していない」と大谷さんはいう。

調査の難しさを理解していない」と大谷さんはいう。

「量的調査」とは、世論調査のように、多くの対象者から回答を得て結果を数値で示るような調査を指す。これ

「質的調査」は、例えば、世論調査の難しさを理解していない」と大谷さんはいう。

調査の難しさを理解していない」と大谷さんはいう。



大谷 信介さん



好井 裕明さん



川合 隆男さん

本から学ぶ

松本正生 「世論調査」のゆくえ (中央公論新社)
世論調査と社会の変化を追う。

赤川学 『子どもが嫌って何が悪いのか!』 (ちくま新書)
統計の粗雑な扱いを批判する。

好井裕明 『「あたりまえ」を疑う社会学』 (光文社新書)
「質的調査」の実態を紹介。

回収率の悪化

「回収率の悪化」を懸念する。川合さんは「量的調査における適切な質問は、現場を質的に観察して初めて得られる」という。

「量的調査」とは、世論調査のように、多くの対象者から回答を得て結果を数値で示るような調査を指す。これ

「質的調査」は、例えば、世論調査の難しさを理解していない」と大谷さんはいう。

調査の難しさを理解していない」と大谷さんはいう。

「量的調査」とは、世論調査のように、多くの対象者から回答を得て結果を数値で示るような調査を指す。これ

「質的調査」は、例えば、世論調査の難しさを理解していない」と大谷さんはいう。

調査の難しさを理解していない」と大谷さんはいう。

量と質から世の中をとらえる

(いまの社会調査は)量的調査が中心で,質的調査に関して不十分。。。

「量的調査」とは,結果を数字に。。。例えば5段階で答える。

「質的調査」は,語りに耳を傾け,会話や行動観察。。。

日本における社会調査の始まりは,明治時代のルポルタージュに見るいわば質的研究であったが,昭和に入りアメリカから量的調査の手法が輸入されると「科学的調査」の枠外に。。。

世の中の現実をみると,「量から質化」の二分法ではないのだろう。

cf : narrative-based medicine

(025 - 025) 自然を導く原則を
数学とするのは不合理

偉大なる自然の聖典は数学の言語で書かれていると主張したのはガリレオだが、時を経た今でもこの言葉は科学の領域では教典、信仰箇条として生きている。だが、このような信念を支える証拠はない。そして、自然を導く原則として**数学**を歓迎するのは**不合理**な方法だと疑うことが、今の科学者には許されている。

(Jesper Hoffmeyer: En Snegl Pa Vejen; Betydningens naturhistorie, 1993

(松野孝一郎・高原美規訳: 生命記号論、p68、青土社、東京、2005年))

(026 - 034)

科学主義は、狭隘な哲学的立場

伝統的な自然科学の方法は、物質的現象の研究においては精密で簡潔で有効であるが、その一方で、人間に関する諸事の研究においてはしばしば不適切で、無効で、還元主義的で、また有害である。人間を研究するためには他の方法 - 現象学的・民族誌学的・歴史的・文学的・物語的・理論的・解釈学的方法 - が、伝統的な科学的方法によって捉え、そして扱うことができない、微妙で精妙な人間的現象のための捕蝶網の役割を果たさなければならない。**科学は知の探求**である。他方、**科学主義は**自然科学の方法が全ての研究調査活動に用いられるべきであるとする、**狭隘な哲学的立場**である。

(Elkins, ND : Beyond Religion, 1998)

(大野純一訳: スピリチュアル・レボリューション、p264、星雲社、東京、2000年)

(028 - 070)

統合科学

統合科学は、経験が持つ深遠な深みや多様性への眼差しを失うことなく、量的研究方法と質的研究方法をまとめ上げ、知の多元的なあり方にもとづいて共通性を見いだし、一般化を行うことを可能にしてくれる。統合的科学の方法論を構築する上で大きな挑戦となるもののひとつは、内面的主観的に知りうることを外面的で客観的な知のあり方とどう折り合いをつけるかという点である。

cf : crossdisciplinary領域を超えた multidisciplinaryまたがる
interdisciplianry学際

cf : Something integrated, The integrated

(カサンドラ・ヴィーテン、ティナ・アモロック、マリリン・シュリッツ:一つの山に通じる多くの道。

スピリチュアリティといのちの未来、島菌進ら監。p292,人文書院、京都、2007年)

(034-001-II) 現代的医学・医療と補完代替伝統医療

医学 vs 医療

補完代替伝統医学(理念・学理・学説etc.)はない

医療は、学術的(=医学)でなくとも成立する

医学は、医療技術なしには成立しない

科学的 vs 非科学的

現代的医学・医療は、

現代的科学に依拠し、科学的(とされている)

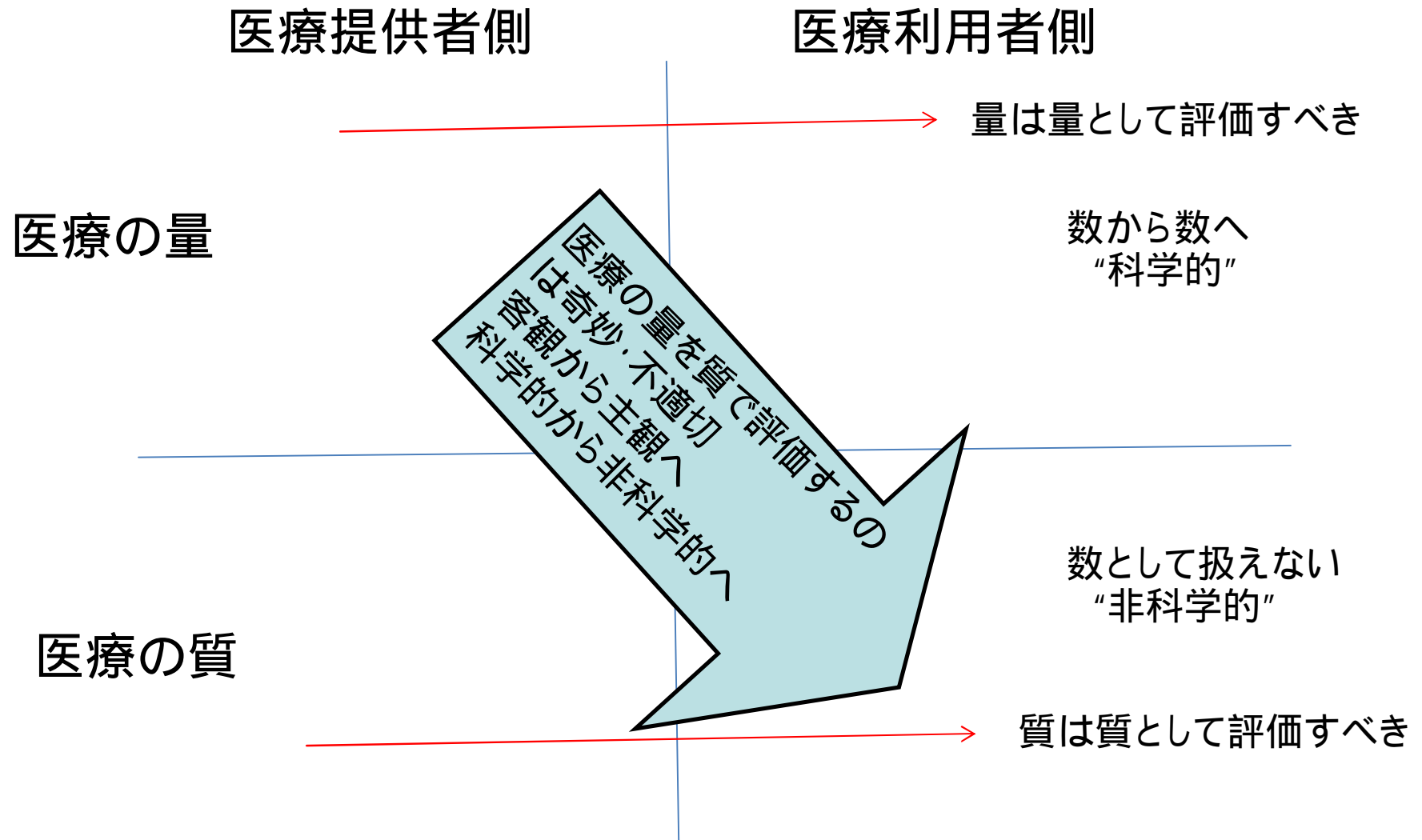
補完代替伝統医療のあるものは、

現代的科学では理解・説明できず、

その意味では非科学的

医療の量と質の象限の変換

(034 - 002 - II)



心療内科の生物医学還元主義化

心療内科という果実が実を結ぶ過程には、操作的診断法の導入や治療法の標準化など、**心身医学の科学化**が強力に押し進められる必要があった。それは、生物医学を中心とした制度医療の内部でその**地位を獲得するための戦略**でもあった。全人的医療の方法論を探求していたはずの心身医学が、精神身体免疫学・脳生理学・認知行動科学などの新知見を積極的に取り込もうとするあまり、「こころ」をも含めた心身全体を機械として捉えようとする**生物医学還元主義に再び陥りつつある**ともいえる。

ref：統合医療を科学的に評価するのも、同じ車の轍

(辻内琢也：民俗セクター医療をめぐるナラティブ。

ナラティブと医療(江口重幸ら編)、p141、金剛出版、東京、2006)

伝統医療にきびしく

日本では、「伝統医療」を医療サービスに導入する際、伝統的な医学的価値にはそれほど重きを置かず、政策的ステータスの優位な「西洋近代医学」に基づく有効性や安全性の点から評価しがちである。この傾向は1990年代からの世界的なEBMの流れが日本にも紹介されて拍車がかかっている。一方、医療技術評価の観点からは、近代医療の種々の介入も高々20%がその有効性のエビデンスを持っているにすぎない。すなわち、西洋科学のパラダイムにあるわれわれは、**ダブルスタンダードを用いて、ある面、より「きびしく」伝統医療をみている。**

(津谷喜一郎ら：伝統医療と補完・代替医療の合理的使用。

医療従事者のための補完・代替医療，今西二郎編，p30，金芳堂，京都，2003年)

代替医療の中には、広く用いられている**科学的**
検証法がそのままでは**適用できない**ものも少なく
ない。そのため、代替医療に関する臨床試験では、
まず検証法自体が適切であるかどうか、**他により**
よい検証方法を**考案**すべきではないのか、常に
考慮する必要。。。